

第76号

Water & Mud Newspaper

水 泥 新 聞

2022年(令和4年)5月5日



編集

フジクリーン工業株式会社

〒464-0850

愛知県名古屋市中千種区今池
四丁目1番4号

TEL 052-733-0325

令和4年度より基準見直し 補助金制度がリニューアル

令和3年度で期限を迎えた「省エネ型浄化槽システム導入推進事業」。令和4年度以降は、「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」として、再スタートする。環境省から発表された要件を紹介するとともに、従来の補助金制度との違いを解説。



▲微細目スクリーンの交換前(左)と交換後(右)

令和4年度の補助金には、予算額18億円を計上

浄化槽システムにおける 脱炭素化を支援

令和4年度からスタートする補助金制度「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」。新たに予算額18億円を計上し、エネルギー効率の悪い既設中大型合併処理浄化槽について、最新型の高効率機器（高効率ブロワ等）への改修や、先進的省エネ型浄化槽への交換に必要な費用の2分の1の補助が受けられる。ほかにも、再生可能エネルギー設備（太陽光発電設備、蓄電池等）の導入によるCO₂排出削減も支援。令和8年度までの実施

で、2050年のカーボンニュートラル、2030年度の温室効果ガス排出量46%削減目標の達成をめざす。

従来の補助金制度から 要件を大きく見直し

従来の補助金制度との大きな違いに、要件の厳格化があげられる。TYPE 1と呼ばれる高効率機器への改修について、これまでCO₂排出量5%削減としていたが、令和4年度からは20%以上削減に変更。TYPE 2と呼ばれる先進的省エネ型浄化槽への交換については、これまで具体的な数

値は定められていなかったが、令和4年度からは46%以上削減と高い目標数値が設定された。これらの数値については、執行団体である一般社団法人 全国浄化槽団体連合会のHPより「二酸化炭素削減効果計算表」をダウンロードし、モーター出力や運転時間など情報を入力すると、簡単に算出できるようになっている。

ほかにも、平成17年度から始まった循環型社会形成推進交付金にも予算額86億円を計上。交付対象を地方公共団体とし、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換や、公共浄化槽等の整備促進を支援する。

全国浄化槽団体連合会の声

令和3年度までの実績を振り返る

平成29年度から5年度にわたり実施された「省エネ型浄化槽システム導入推進事業」については、皆様から並々ならぬお力添えをいただきましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。実績額は年々増加傾向にあります。一方、予算未達という状況です。一方、環境省は浄化槽分野に脱炭素化の余地が残されているとの認識であり、令和4年度からも補助制度が実施されます。新規事業では、設置当時から処理対象人員が大きく減ってしまった浄化槽の更新など、より広くアプローチしていきたいと考えております。

二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(省エネ型浄化槽システム導入推進事業)実績

年度	事業区分	申請件数		補助金交付金額		CO ₂ 削減効果	
		事業別(件)	合計(件)	事業別(円)	合計(円)	事業別(t-CO ₂)	合計(t-CO ₂)
平成29	機器の更新改修	176	176	180,316,000	180,316,000	454.5	454.5
	浄化槽本体交換	-		-			
平成30	機器の更新改修	424	433	503,735,000	662,273,000	1306.1	1533.3
	浄化槽本体交換	9		158,538,000		227.2	
平成31/ 令和元	機器の更新改修	456	503	535,995,000	1,189,010,000	1568.4	2735.7
	浄化槽本体交換	47		653,015,000		1167.3	
令和2	機器の更新改修	418	471	520,958,000	1,322,141,000	1369.9	2749.4
	浄化槽本体交換	53		801,183,000		1379.5	
令和3	機器の更新改修	502	575	656,086,000	1,466,636,000	1960.1	3523.4
	浄化槽本体交換	73		810,550,000		1563.3	

令和3年度 フジクリーン工業請負実績 (一部抜粋)

実績1 北関東の飲食店

千葉、埼玉、茨城、栃木に、複数店舗を展開する和食レストラン。約20年前に出店した多くの店舗は、経年劣化が進行。浄化槽の11条検査もほとんど未受験であった。最終的には、9店舗分のブロワやポンプ、微細目スクリーンなど浄化槽付属機器を交換する大規模な改修となった。

D A T A	【総事業費】12,460,000円
	【補助金額】6,230,000円
	【年間削減電気量】23,769.3kWh
	【年間削減CO ₂ 】11.6t
	【施工内容】ばっ気ブロワ14台、攪拌ブロワ7台、メインブロワ3台、原水ポンプ4台、計量ポンプ14台、放流ポンプ16台、消泡ポンプ1台、微細目スクリーン6台



▲ブロワの交換



▲ポンプの交換

営業担当者の声

お客様の役員体制が大きく変わったタイミングでの提案でした。先方のご担当者さまから店舗改修の話を持った後、浄化槽付属機器のCO₂排出量削減案を提示。当初は、難色を示されました。しかし、現状とリスクを丁寧に説明した結果、浄化槽設備改修の優先順位がアップ。管理者側に寄り添ったアドバイスや相談で信頼を獲得したほか、タイムリーなコミュニケーションが功を奏したと実感しています。



東京支店 営業課
維持管理担当
早川和宏

実績2 千葉県のゴルフ場

使用開始から36年以上が経過、老朽化により11条検査も不適合に。改修を考えていたところに、タイミングよくCO₂補助事業の活用を提案できた。

D A T A	【総事業費】28,830,000円
	【補助金額】14,415,000円
	【年間削減電気量】86,310.9kWh
	【年間削減CO ₂ 】43.1t
	【施工内容】浄化槽本体、付属機器一式(接触ばっ気方式浄化槽をPC型に入替)



実績3 静岡県のホテル

フルリノベーションに伴い、使用開始から27年が経過した既設コンクリート製浄化槽を破碎・撤去。新しい浄化槽を設置する大型工事となった。

D A T A	【総事業費】66,500,000円
	【補助金額】33,250,000円
	【年間削減電気量】166,168.7kWh
	【年間削減CO ₂ 】83t
	【施工内容】浄化槽本体、付属機器一式(RC槽をPC型に入替)



実績4 福岡県の商業施設

使用開始から6年程度の浄化槽だったが、実流入水量が設計値の70%程度であったため流入水量にあった浄化槽を提案。電気代の大幅削減を実現した。

D A T A	【総事業費】28,500,000円
	【補助金額】14,250,000円
	【年間削減電気量】38,196kWh
	【年間削減CO ₂ 】19t
	【施工内容】浄化槽本体、付属機器一式(膜処理槽をPC型に入替)



フジクリーン研究員のミニ講座 浄化槽と微生物

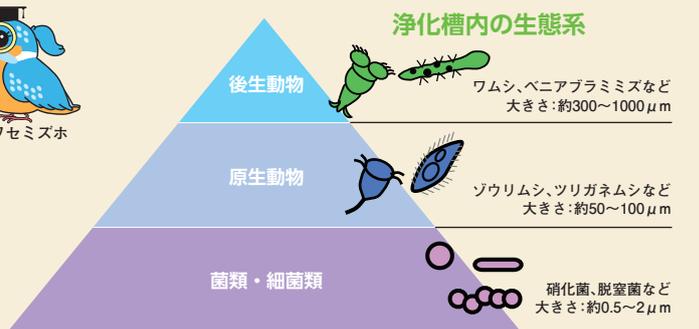


カワセミズホ

Lesson 1 浄化槽は小さな生き物のコミュニティ

浄化槽は、生物の働きで水をきれいにしているのをご存知でしたか？
効率の良い処理を実現するためには、さまざまなサイズの生物が排水処理に適したバランスで存在する必要があります。そのため、高性能&コンパクト&省エネな浄化槽を開発するためには、生物バランスの研究が不可欠なのです。

当研究所では、顕微鏡観察や遺伝子解析などの手法で浄化槽内の生物を調査。次号からは、主な調査法について、詳しく解説するので楽しみに！



陸上の生物に「植物→草食動物→肉食動物」という生態系ピラミッドがあるように、浄化槽内にも「菌類・細菌類→原生動物→後生動物」という生態系ピラミッドが存在しています。